



あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

09.24 NO-23

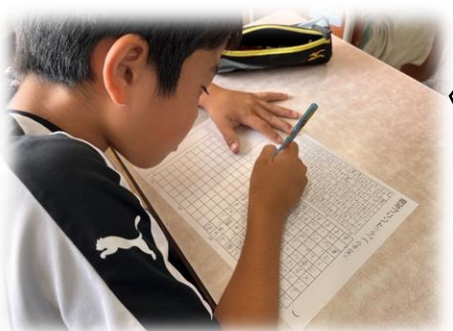
6年生みんなで取組む「視写」！

以前、『あいことば上宇部 2026』No-17でお伝えした、振り返りタイムに実施している「視写」についての続報です。

その学級とは、6年3組のことでした。6年3組では、1学期の間、振り返りタイムを活用して継続的に「視写」に取り組んできました。夏休みに、その取組の様子や成果、課題等について学年の担任同士で共有したところ、「この取組は6年生の学習課題解決の一助になる」という思いを共通にもつことができました。

そこで、学年全体で目的や方法を共有し、2学期からは毎週月曜日に6年生全体で取り組むこととしました。

以下は、先週月曜日（9月14日）に行われた6年生の「視写」の様子です。子どもたちは開始から10分間、プリントに書かれた文章を、できるだけ正確かつ丁寧に書き写していきます。この時間、6年生のフロアは静まり返り、子どもたちの集中した姿からは、張り詰めた空気さえ感じられます。



教室には、鉛筆で文字を書き写す音だけが聞こえ、子どもたちの集中ぶりが伝わってきました。

早く書き終えた子どもたちは、国語辞典を開き、意味の分からない言葉や気になった言葉を調べていました。



本校では、「全教職員による全児童の見守り・支援」をグランドデザイン（＝学校運営の基本的な方針）の根幹に据えています。一人の教職員の取組や一学級の実践が、周囲へと広がり、学年全体の取組へと発展していくことは、まさにこの考え方の具現化と言えます。

教職員同士が日頃からしっかりとコミュニケーションを図り、互いの実践を共有しながら、よりよい教育活動を創り上げていく。そのような同僚性の高さが、本校の大きな強みの一つです。